

2.4 記号および定義

本設計標準(案)に用いる主な記号とその定義は次によるものとする。

表-2.8 記号および定義

記号	定 義
R_D	死荷重反力
$RU1$	橋軸方向地震時の上向き之力
$RHeq1$	橋軸方向地震時の橋軸方向水平力
$RU2$	橋軸直角方向地震時の上向き之力
$RHeq2$	橋軸直角方向地震時の橋軸直角方向水平力
RU	レベル2地震動における上向き之地震力之下限値($-0.3 \cdot R_D$)
F_1	ジョイントプロテクター之設計水平力
L_1	常時之橋軸方向変位量
L_{e1}	レベル2地震動における橋軸方向変位量
L_{e2}	レベル2地震動における橋軸直角方向変位量
a	ゴム支承本体之内部鋼板之橋軸方向長さ
b	ゴム支承本体之内部鋼板之橋軸直角方向長さ
A	下沓または上沓之橋軸方向長さ
B	下沓または上沓之橋軸直角方向長さ
A_0	ベースプレートまたはソールプレート(コンクリート橋のみ)之橋軸方向長さ
B_0	ベースプレートまたはソールプレート(コンクリート橋のみ)之橋軸直角方向長さ
t_1	下沓または上沓之板厚
t_0	ベースプレートまたはソールプレート(コンクリート橋のみ)之板厚
B_j	ジョイントプロテクター之橋軸直角方向長さ
E_j	ジョイントプロテクター凸部之橋軸方向長さ
c	ジョイントプロテクターと上沓之高さ方向之重なり幅
t_j	ジョイントプロテクター底板部之板厚
D	せん断キー之直径
c_1	橋軸方向最外列之取付けボルト中心位置から被取付け部材縁端まで之距離
d_1	橋軸方向最外列之取付けボルト中心位置から被取付け部材之反対側縁端まで之距離
c_2	橋軸直角方向最外列之取付けボルト中心位置から被取付け部材縁端まで之距離
d_2	橋軸直角方向最外列之取付けボルト中心位置から被取付け部材之反対側縁端まで之距離
L_1	橋軸直角方向最外列之ゴム支承本体取付けボルト中心位置から下沓縁端または、橋軸直角方向最外列之下沓取付けボルト中心位置からベースプレート縁端まで之距離
h_r	ゴム支承本体之外面高さ
h_1	地震時鉛直力と水平力之組合せにおいて、下沓取付けボルト、下沓溶接部または上沓取付けボルト(鋼橋之場合は、けた取付けボルト)之引抜き力之照査するとき之水平力作用位置高さ
h_2	下沓またはベースプレート之断面中心からジョイントプロテクター之設計水平力作用位置まで之高さ

h_0	地震時鉛直力と水平力の組合せにおいて、下部アンカーボルトまたは上部アンカーボルト(コンクリート橋のみ)の引抜き力を照査するときの水平力作用位置高さ
h_s	せん断キー支圧部の支圧高さ(面取り部を含む)
h_{j1}	ジョイントプロテクター下面からの設計水平力作用位置高さ
h_{j2}	ジョイントプロテクター凸部付け根からの設計水平力作用位置高さ
n	取付けボルトと支圧面であるコンクリートまたは鋼板のヤング係数比
m_1	橋軸方向最外列の取付けボルトの本数
m_2	橋軸直角方向最外列の取付けボルトの本数
m_j	ジョイントプロテクター1体当りのジョイントプロテクター取付けボルトの本数
d_B	取付けボルトのねじ部の呼び径
d_a	アンカーボルトの棒径
L_B	取付けボルトのねじ込み長さ
L_a	アンカーボルトの上部または下部構造への埋込み深さ
Σm	取付けボルトの総本数
d_o	取付けボルトのねじ部谷径
A_S	取付けボルト1本当りの谷径断面積($A_S = \pi \cdot d_o^2 / 4$)
T	取付けボルト1列当りの引抜き力
T_0	取付けボルト1本当りの引抜き力

注(1) 表に定義されていない記号は、本文の表示箇所の下に説明文をつけるものとする。